

公共交通の「快適性・安心性」向上方策の検討

アンケート、モニタ調査から利用者ニーズを抽出

快適性

- ・ きれいに、静かに、清潔にしてほしい
- ・ 混雑を少なくしてほしい
- ・ 移動を楽にしてほしい
- ・ 乗降方法をわかりやすくしてほしい 等

安心性

- ・ 運行情報を表示してほしい
- ・ マナーの向上を呼びかけてほしい
- ・ 緊急時にしっかり対応してほしい 等

利用者ニーズに対応した指標選定の視点整理

- ・ 利用者ニーズが高いサービス改善を優先
- ・ 事業者の投資余力や施設整備の優先順位を考慮
- ・ 事業者の積極的なサービス改善へのインセンティブとなるよう考慮 等

「快適性・安心性」評価指標を策定

“ICE (Index of Comfortable and Easeful public transportation)”

1. 優先的に計測を行う指標

やさしく利用できる

オフピーク時車両混雑率
ピーク時混雑率
段差解消率
低床バス導入率

分かりやすく利用できる

ホームLED設置率
駅構内LED設置率
車内LED設置率

安心して利用できる

駅員への連絡しやすさ
車内インターホン設置率

気持ちよく利用できる

全自動制御機能を有する冷却装置
設置車両率
トイレの質

「」印: 今後指標についてデータ化が望まれる 「」印: 他調査等で指標化。データ化がなされている

2. 計測について今後更に検討する指標

合計38の指標を提案

〔 エスカレーター・エレベーター設置率、車内騒音
放送・LEDの内容、係員の目の行き届きやすさ
等 〕